

## 【男子グレコローマン 59kg 級】

城戸義貴（自衛隊）  
河本圭智（自衛隊）  
清水早伸（自衛隊）  
倉本一真（自衛隊）  
下山田培（日体大）  
太田 忍（日体大）  
有延大輝（国士舘大）  
竹下雄貴（日体大）  
藤田侑志（日体大）  
松澤力也（日体大）  
文田健一郎（日体大）  
影山大洋（九州共立大）  
桑山裕貴（岐阜・中津商高）  
光岡裕也（徳山大）  
長谷川恒平（青山学院大職）  
尾形 翼（ALSOK）  
峯村 亮（神奈川大職）  
井上征洋（拓大）  
大谷康太（神奈川・磯子工高教）  
小林大樹（茨城・霞ヶ浦高）  
石原拓朗（山梨・韮崎工高教）  
田野倉翔太（クリナップ）  
河名真寿斗（専大）  
村上 椋（日体大）

全日本選抜選手権で優勝し、アジア大会（韓国）も制した長谷川恒平（青山学院大職）に、昨年 55kg 級王者で全日本選抜選手権 2 位の田野倉翔太（クリナップ）、世界選手権代表の倉本一真（自衛隊）が挑む。

アジア選手権（カザフスタン）で前年の世界王者を破って 2 位に入った太田忍（日体大）が 3 人の闘いに割り込めるか。太田はその後、学生二冠王者（全日本学生選手権、全日本大学グレコローマン選手権）、国体王者、ブラジルカップ優勝と好調を維持している。

全日本社会人選手権優勝で国体 2 位の清水早伸（自衛隊）、JOC 杯優勝の文田健一郎（日体大）が優勝争いに加われるか。文田は、国体では田野倉を破った。

昨年 60kg 級 3 位の城戸義貴（自衛隊）、国体 3 位の尾形翼（ALSOK）、全日本学生選手権 3 位の松澤力也（日体大）、長谷川の好敵手だったベテランの峯村亮（神奈川大職）ら実績のある選手の殊勲はあるか。尾形は全日本選抜選手権で倉本に 1 - 2 の接戦を展開。実力は接近している。

全日本選抜選手権で清水を破る殊勲を挙げた下山田培（日体大）など、“伏兵”の出現はあるか。

## 【男子グレコローマン 66kg 級】

小路直頌（自衛隊）

魚住彰吾（専大）

高橋昭五（日体大）

中村尚弥（日体大）

宮城辰司（日体大）

森 俊樹（九州共立大）

谷田 旭（裾野市消防本部）

柴田慎吾（宮崎・福島高教）

瀧 康真（関大）

泉 武志（愛媛県協会）

音泉秀幸（ALSOK）

堀後雄太（拓大）

雨宮隆二（山梨学院大）

長崎宏樹（山梨学院大）

土田尚人（新潟・県央工高教）

全日本選抜選手権優勝選手（松本隆太郎）は不出場。同2位で世界選手権（ウズベキスタン）8位の**音泉秀幸（ALSOK）**のチャンスが広がった。2連覇を目指す。

全日本社会人選手権 75kg 級と国体を制した**泉武志（愛媛県協会）**が挑む一番手と言えよう。全日本選抜選手権での両者の対戦は、音泉が終了間際に警告勝ちしているが、スコアは2-1と接戦。実力は伯仲している。

全日本学生選手権優勝の**宮城辰司（日体大）**、同2位で世界学生選手権（ハンガリー）3位の中村尚弥（日体大）、全日本大学グレコローマン選手権優勝の**堀後雄太（拓大）**ら学生の強豪がどこまで食いつけるか。

国体2位の**長崎宏樹（山梨学院大）**、JOC杯を制し11月のブラジルカップで国際大会初優勝を飾った**高橋昭五（日体大）**、JOC杯2位で全日本選抜選手権4位の**雨宮隆二（山梨学院大）**、全国社会人オープン選手権優勝の**小路直頌（自衛隊）**らの学生、・若手選手の健闘も期待される。

## 【男子グレコローマン 71kg 級】

櫻庭功大（秋田・秋田商高）

江川 潤（和歌山県協会）

花山和寛（自衛隊）

屋比久翔平（日体大）

中井堅太（早大）

濱口祐志（九州共立大）

稲田 貴（群馬大）

梅野貴裕（愛媛・八幡浜工高教）

倉野真之介（法大クラブ）

井上智裕（三恵海運）

保坂和哉（山梨・農林高職）

小林隆介（拓大）

近藤雅貴（専大）

河本宗一郎（法大）

渡部広章（日体大）

全日本選抜選手権の1、2位の選手は不出場。同3位で全日本社会人選手権と国体を制した**井上智裕（三恵海運）**が優勝候補の筆頭となろう。11月のビル・ファーレル国際大会（米国）では3位となり、久しぶりの国際大会のメダルを手にして上昇ムード。

学生二冠王（全日本学生選手権、全日本大学グレコローマン選手権）の**屋比久翔平（日体大）**が、その壁を崩せるか。11月のブラジルカップで優勝し、国際大会初のタイトルを獲得。全日本選抜選手権での井上との対戦は1-5で敗れているが、その時よりも実力をアップさせ。

昨年の学生王者で今年の全国社会人オープン選手権優勝の**花山和寛（自衛隊）**、国体2位の**梅野貴裕（愛媛・八幡浜工高教）**、全日本大学グレコローマン選手権2位の**濱口祐志（九州共立大）**、同3位の**中井堅太（早大）**らが優勝戦線に加わることができるか。

## 【男子グレコローマン 75kg 級】

田村和男（ワセダクラブ）  
亀井竜昇（自衛隊）  
清水博之（自衛隊）  
宇野寿倫（日体大）  
武田光司（専大）  
椿 和浩（九州共立大）  
古川恭円（徳山大）  
阪部 創（神奈川大）  
金久保武大（ALSOK）  
永井凌太（拓大）  
阿比留誠（中京学院大）  
北川幸一（松阪クラブ）

全日本選抜選手権の1、2位で、アジア大会2位の**金久保武大（ALSOK）**と世界選手権5位の**清水博之（自衛隊）**の争いが続くと思われるが、同3位の**阪部創（神奈川大）**がどうからむか。学生二冠王（全日本学生選手権、全日本大学グレコローマン選手権）と国体優勝、世界学生選手権（ハンガリー）3位と力をつけている若手成長株。

全日本選抜選手権では、清水が阪部を4-2で破り、金久保が清水を3-2で破った。今回もきん差の闘いになるのではないか。世界5位にもなったことのある金久保だが、意外にも全日本選手権での優勝はなし。清水は3度目の優勝を狙い、阪部は初優勝を目指す。

全日本社会人選手権2位で元全日本王者の**田村和男（ワセダクラブ）**、全日本大学グレコローマン選手権2位の**永井凌太（拓大）**、国体2位の**武田光司（専大）**らがどこまで上位に食い込めるか。

## 【男子グレコローマン 80kg 級】

角 雅人 (自衛隊)  
塩川貫太 (日体大)  
関口 巡 (福岡大)  
花山尚生 (福岡大)  
菊本涼馬 (国士舘大)  
榎本凌太 (同志社大)  
坂野修平 (TSSプロダクション)  
東 佳佑 (神奈川大)  
徳山利範 (山陰酸素工業)  
石垣秀城 (中大) クラブ  
村上貴之 (長崎県協会)  
森 保士 (朝明クラブ)  
前田祐也 (拓大)  
村田貴雅 (青森県協会)

全日本選抜選手権の王者(鶴巻宰)は階級アップ。同2位の**角雅人(自衛隊)**と全日本大学グレコローマン選手権優勝の**前田祐也(拓大)**の1994年生まれの20歳選手同士の争いとなりそう。ともに初優勝を目指す。

角は世界選手権(ウズベキスタン)初出場を含め、今年だけで6度の国際大会出場を経験。10月のビル・ファーレル国際大会(米国)で3位、同月のブラジルカップ(ブラジル)で優勝と、実績を残し初めて最高に乗っている状況。前田は世界学生選手権(ハンガリー)出場の経験を経て、大学王者に輝いた。やはり乗っている選手。

全日本社会人選手権優勝の**村上貴之(長崎県協会)**、2012・13年に西日本学生選手権を制した**坂野修平(TSSプロダクション)**の社会人選手が優勝争いにかからめるか。

若手の期待は、全日本学生選手権で1年生ながら2位に食い込んだ**塩川貫太(日体大)**と、西日本新人戦と西日本学生選手権でともに両スタイルを制覇した**榎本凌太(同志社大)**。塩川は11月の東日本学生秋季新人選手権でも優勝し、順当に実力をつけている。榎本は西日本学生秋季リーグ戦の同志社大優勝の立役者。場数を踏んで、今が成長真っ最中。西日本学生界の意地を見せられるか。

## 【男子グレコローマン 85kg 級】

星 翔也 (日体大)  
岡 太一 (自衛隊)  
中井誠基 (徳山大)  
山本将吾 (徳山大)  
尾曲伸乃祐 (F.B.KOBE)  
天野雅之 (中大職)  
宮腰 恒 (東洋大)  
鶴巻 宰 (自衛隊)

全日本選抜選手権優勝の**岡太一 (自衛隊)**と同2位で国体優勝の**天野雅之 (中大職)**の争いに、階級を落としていた全日本選抜選手権 80kg 級優勝の**鶴巻宰 (自衛隊)**がこの階級に復帰参戦する。旧 84kg 級で展開された三者の争いは、だれが勝ち抜くか。旧 84kg 級では、2010年に岡、11年に天野、12年に岡、13年に鶴巻がそれぞれ優勝している。

天野は今年、世界選手権 (ウズベキスタン) で8位に入賞し、優勝した選手相手にも善戦。鶴巻はアジア大会 (韓国) 80kg 級で銀メダル獲得と、国際大会でまずまずの成績を残した。国際大会の成績では遅れをとった岡 (アジア大会 10 位) が、全日本選抜王者の意地を見せられるか。

全日本学生選手権2位の**中井誠基 (徳山大)**、全日本大学グレコローマン選手権3位の**星翔也 (日体大)**らの学生選手も世代交代を目指して奮戦することが期待される。

## 【男子グレコローマン 98kg 級】

奈良勇太（日体大）  
木下 駿（自衛隊）  
山本雄資（警視庁）  
大坂 昂（三菱電機）  
越後智裕（国士舘大）  
宮國雄太（国士舘大）  
志喜屋正明（国士舘大）  
近藤千加良（国士舘大）  
大槻亮太（徳山大）  
米平安寛（宮崎県協会）  
加賀谷庸一郎（和歌山県教育庁）  
高野智大（新潟総合警備保障）  
齋川哲克（栃木・足利工高教）  
有菌拓真（ALSOK）  
横井健人（中京学院大）クラブ  
松野裕也（山梨学院大）  
竹内亮亘（帝塚山大）  
横澤 徹（盛岡市役所）  
前川勝利（早大）  
服部弘慶（拓大）

2012年ロンドン・オリンピック代表で今年のアジア大会（韓国）でも3位に入賞した齋川哲克（栃木・足利工高教）が変わらぬ実力を発揮するか。通算で6度目の日本一を目指す。

実績では昨年2位の山本雄資（警視庁）が対抗となろうが、負傷で戦列を離れていた。昨年3位で今年のアジア選手権（カザフスタン）2位と躍進した大坂昂（三菱電機）や、全日本選抜選手権3位の米平安寛（宮崎県協会）が打倒齋川に近い位置にいるか。

ここに昨年120kg級優勝の前川勝利（早大）が階級を落として参戦する。11月の「ブラジルカップ」で試運転しており、欧州3位の選手相手にかなり動けたもよう。階級ダウンがどう出るか。

全日本社会人選手権優勝の横井健人（中京学院大クラブ）、全国社会人オープン選手権優勝の木下駿（自衛隊）、2011年世界選手権代表の有菌拓真（ALSOK）らの社会人選手、全日本学生選手権で1年生王者に輝いた奈良勇太（日体大）、全日本大学グレコローマン選手権優勝の志喜屋正明（国士舘大）の学生選手がどこまで頑張れるか。

## 【男子グレコローマン 130kg 級】

曾我部健（日亜化学工業）  
河野隆太（鈴鹿国際大職）  
谷田昇大（ヤマヨテクスタイル）  
日坂侃生（中大）  
執行大海（日本文理大学）  
稲垣善之（法大）  
園田 新（拓大）  
瀬川翔太（中京学院大）  
津田大健（中京学院大）  
黒木柁統（東洋大）

2012・13 年全日本選手権 120kg 級優勝の前川勝利が 98kg 級へ階級を下げたこともあり、全日本選抜選手権優勝で世界選手権代表の**園田新（拓大）**が抜け出している状況。世界選手権のあとも全日本大学グレコローマン選手権、国体と優勝。国内無敵の強さを見せて初優勝を飾るか。

全日本選抜選手権 3 位で全日本社会人選手権優勝の**谷田昇大（ヤマヨテクスタイル）**、全日本選抜選手権 4 位の**津田大健（中京学院大）**、全国社会人オープン選手権優勝の**河野隆太（鈴鹿国際大学職）**らが、どこまで迫れるか。

## 【男子フリースタイル 57kg 級】

大城一晟（国士舘大）  
平川耶磨人（中京学院大）  
樋口 黎（日体大）  
山崎達哉（日体大）  
伊藤 優（群馬大）  
藤田雄大（三重・いなべ総合学園高）  
守田泰弘（和歌山県教育庁）  
前田頼夢（日大）  
中村倫也（専大）  
川野陽介（自衛隊）  
湯元進一（自衛隊）  
桑木 黎（自衛隊）  
赤澤 岳（日大クラブ）  
高橋侑希（山梨学院大）  
小柳和也（山梨学院大）  
西山凌代（拓大）  
長谷川敏裕（東京・自由ヶ丘学園高）  
森下史崇（ぼてぢゅう&Bum's）

世界選手権（ウズベキスタン）で5位に入賞した**高橋侑希（山梨学院大）**と、昨年優勝で7月の世界学生選手権（ハンガリー）で国際大会初優勝を飾った**森下史崇（ぼてぢゅう&Bum's）**の争いが続くと思われるが、2012年ロンドン・オリンピック銅メダルの**湯元進一（自衛隊）**が復帰し、全日本社会人選手権で優勝。変わらぬ実力を見せた。

湯元は10月のドミトリー・コーキン国際大会（ロシア）では2位となり、王国ロシアの大会でも通用する実力を発揮。高橋、森下にとっての難敵となることは間違いない。

全日本大学選手権では、全日本学生選手権優勝の**中村倫也（専大）**が高橋を破る殊勲を挙げた。一気に優勝争いに加わることができるか。

全日本学生選手権2位の**山崎達哉（日体大）**、同3位の**樋口黎（日体大）**、全日本社会人選手権2位の**桑木黎（自衛隊）**、3位の**守田泰弘（和歌山県教育庁）**も優勝争いにからむ実力を秘めている。

## 【男子フリースタイル 61kg 級】

阿部宏隆（国士舘大）

光永賢弘（同志社大）

米澤 圭（秋田・秋田商高）

中野晶太（日体大）

中田 陽（日体大）

川瀬克祥（日体大）

上野慎太郎（日体大）

有元伸悟（近大）

高安直人（高安組）

菊地 憲（静岡クラブ）

荻原阜希（専大）

原口 遼（鹿児島・樟南高職）

鴨居正和（山梨学院大）

鈴木崇嗣（拓大）

乙黒圭祐

（JOCエリートアカデミー／東京・帝京高）

鈴木康寛（自衛隊）

昨年優勝で全日本選抜選手権の王者（高塚紀行）は階級を上げた。空いた座を狙う一番手は、全日本選抜選手権2位で全日本大学選手権3連覇の鴨居正和（山梨学院大）。世界選手権（ウズベキスタン）出場の経験を生かして全日本初制覇なるか。

全日本選抜選手権3位の阿部宏隆（国士舘大）、同4位の有元伸悟（近大）、全日本学生選手権優勝の中野晶太（日体大）、同2位で11月のブラジルカップ2位の中田陽（日体大）らの学生選手が挑む。

社会人では、全日本社会人選手権優勝の菊地憲（静岡クラブ）、同3位の鈴木康寛（自衛隊）が優勝争いにかからむか。菊地は11月のビル・ファーレル国際大会（米国）で2位となり上昇ムード。

## 【男子フリースタイル 65kg 級】

金城希龍（国士舘大）  
深迫友真（徳山大）  
比江島研吾（日体大）  
藤波勇飛（三重・いなべ総合学園高）  
田中幸太郎（阪神酒販）  
紺野孝太（日大）  
山縣良嗣（日大）  
原田 駿（専大）  
高塚紀行（自衛隊）  
高谷大地（拓大）  
川村倫平（拓大）  
秋元優介（明大）  
五位塚優（峡北消防本部）  
前田翔吾（クリナップ）  
栗森幸次郎（三恵海運）  
井上貴尋（三恵海運）  
石田智嗣（警視庁）  
初見智徳（山梨学院大）  
野田寛人（自衛隊）

世界レベルの選手がそろった。全日本選抜選手権優勝でアジア大会（韓国）5位の**石田智嗣（警視庁）**と、同2位で世界選手権（ウズベキスタン）7位の**高谷大地（拓大）**を筆頭に、昨年の世界選手権（ハンガリー）66kg級9位の**井上貴尋（三恵海運）**、アジア大会（韓国）61kg級3位の**高塚紀行（自衛隊）**、昨年の世界選手権（ハンガリー）60kg級代表で負傷から復帰した**前田翔吾（クリナップ）**。

全日本選抜選手権3位で11月のブラジルカップ3位の**田中幸太郎（阪神酒販）**、全日本社会人選手権と全国社会人オープン選手権を制した**栗森幸次郎（三恵海運）**、全日本社会人選手権70kg級優勝の**野田寛人（自衛隊）**も上位進出の可能性は十分。

高校四冠王者（全国高校選抜大会、インターハイ、全国高校生グレコローマン選手権、国体）でアジア・ジュニア選手権（モンゴル）2位の**藤波勇飛（三重・いなべ総合学園高）**が、どこまで上位に食い込めるか。

## 【男子フリースタイル 70kg 級】

松尾侑亮（専大）  
多胡島伸佳（早大）  
菅原翔太（福岡大）  
杉本京介（福岡・東鷹高教）  
中村百次郎（日体大）  
加藤秀麿（立命館大）  
古澤宏野（立命館大）  
松田健悟（青山学院大）  
新川武弥（日大）  
木下貴輪（山梨学院大）  
湯田敬太（拓大）  
小島豪臣（神奈川・中原養護学教）  
田邊雄史（埼玉・花咲徳栄高）  
横山 太（岡山・おかやま山陽高等学教）  
砂川航祐（千葉・柏日体高教）  
工藤涼司（国士館大）  
高橋翔平（拓大）

全日本選抜選手権優勝の**小島豪臣（神奈川・中原養護学教）**が今回も実力を発揮するか。  
2012年アジア選手権（韓国）2位など成績を持ち、ロンドン・オリンピック出場を逃したあと休養していたが、復帰した同選手権はプレーオフを含めて圧勝続き。2大会ぶりの出場となったアジア大会（韓国）では銅メダルを獲得し、衰えていない実力を見せている。

全日本選抜選手権2位の**横山太（岡山・おかやま山陽高教）**、学生二冠王（全日本学生選手権、全日本大学選手権）の**多胡島伸佳（早大）**が、小島のが城を崩せるか。

世界学生選手権（ハンガリー）5位の**砂川航祐（千葉・柏日体高教）**、全日本学生選手権2位の**木下貴輪（山梨学院大）**、同3位の**湯田敬太（拓大）**、全日本大学選手権2位の**新川武弥（日大）**らがどこまで食い込めるか。

## 【男子フリースタイル 74kg 級】

木村政貴（専大）  
嶋田大育（国士舘大）  
山下俊介（国士舘大）  
奥井眞生（国士舘大）  
保坂 健（早大）  
山中良一（日体大助手）  
北村公平（阪神酒販）  
高谷惣亮（ALSOK）  
小山内光将（日大）  
浅井 翼（拓大）  
本村 匠（山梨学院大）  
宮近 由（神奈川大）  
平野 翼（同志社大）  
葉澤 謙（自衛隊）

2012年ロンドン・オリンピック代表の高谷惣亮（ALSOK）が今年の世界選手権（ウズベキスタン）2位の実力を見せつけるか。4連覇を目指す。全日本選抜選手権2位の嶋田大育（国士舘大）は、その後、全日本学生選手権 86kg 級を制し、アジア大会（韓国）5位など経験を積んでいる。高谷のが城を崩せるか。

昨年の東京国体で高谷を破った山中良一（日体大助手）は、今年4月のアジア選手権（カザフスタン）で銅メダルを獲得、国際舞台で通じる実力を見せた。昨年の決勝は高谷にテクニカルフォール負けし、地力の差が感じられたが、その差が縮まっていることは間違いない。世界選手権 70kg 級代表で全日本大学選手権 74kg 級を制した保坂健（早大）が、世界での闘いで得た収穫をもって、この階級でも通じるか。

全日本選抜選手権3位の北村公平（阪神酒販）、全日本社会人選手権優勝の葉科謙（自衛隊）も優勝戦線に加わってほしい選手。

若手では、全日本学生選手権で1年生王者に輝いた奥井眞生（国士舘大）、JOC杯優勝で同じく1年生ながら全日本学生選手権2位の浅井翼（拓大）の有望株がどこまで上位に食い込めるか。

## 【男子フリースタイル 86kg 級】

元井淳貴（徳山大）  
奈良部嘉明（筑西広域消防本部）  
柴田 寛（周南市役所）  
松坂誠應（日体大）  
松本篤史（ALSOK）  
赤熊猶弥（自衛隊）  
白井勝太（日大）  
岡嶋勇也（拓大）  
亀山晃寛（山梨学院大）  
村山貴裕（大東大）  
佐々木健吾（自衛隊）  
永田裕城（自衛隊）  
松本真也（警視庁）  
大山博貴（明大）  
与那覇竜太（専大）  
山本 悟（群馬・館林商工高教）

昨年優勝で世界選手権代表の**松本篤史（ALSOK）**に、全日本選抜選手権 2 位の**松本真也（警視庁）**が挑む展開が続くか。松本篤は世界選手権（ウズベキスタン）で 2 勝をマークして成長を見せたのに対し、松本真はアジア大会で初戦敗退と対照をなした。松本篤の 3 度目の優勝なるか、松本真がベテランの強さを見せて阻止するか。

全日本選抜選手権 3 位の**赤熊猶弥（自衛隊）**が世代交代を実現するか。全日本社会人選手権優勝の**佐々木健吾（自衛隊）**、同 2 位の**永田裕城（自衛隊）**も優勝争いに加わる実力はあ  
るはず。

若手では、全日本大学選手権で 1 年生王者に輝いた**白井勝太（日大）**、同 2 位の**亀山晃寛（山梨学院大）**、全日本学生選手権 2 位の**村山貴裕（大東大）**、JOC 杯優勝の**松坂誠應（日体大）**、  
昨年の東日本学生新人選手権で 2 階級制覇を達成した**与那覇竜太（専大）**ら若手の上位進出  
も期待される。

## 【男子フリースタイル 97kg 級】

雫田真最（専大）  
安田 翔（国士舘大）  
掛谷亮輔（徳山大）  
鈴木聖二（岐阜・岐阜工高職）  
笹川久志（日体大）  
久保遼馬（近大）  
柳谷将広（自衛隊）  
福井裕士（自衛隊）  
山本康稀（日大）  
橋本翔太（日大）  
黒川達也（拓大）  
吉川裕介（山梨学院大）  
藤山徳馬（明大）  
山本泰輝（静岡・飛龍高）  
山口 剛（ブシロード）  
坂田龍星（埼玉・埼玉栄高）  
鈴木勝一（東洋大）  
中井伸一（東計電算）

昨年の世界選手権（ハンガリー）の 96kg 級で 8 位に入賞し、全日本選手権も 2 連覇しながら、今年 2 月に負傷して戦線離脱していた山口剛（ブシロード）が復帰した。初の試合出場になるので、どの程度回復しているかは不明。以前の実力を発揮できるかどうかは分からない。

山口不在の間に全日本選抜選手権で優勝して世界選手権出場の機会を得た鈴木聖二（岐阜・岐阜工高職）、アジア選手権出場を果たした中井伸一（東計電算）のベテランが優勝を勝ち取るか。

学生二冠王者（全日本学生選手権、全日本大学選手権）の山本康稀（日大）がどこまで食い込めるか。3 月にはワールドカップ出場の機会を得て実をつけている。

120kg 級で高校五冠（全国高校選抜大会、JOC 杯ジュニア、インターハイ、全国高校生グレコローマン選手権、国体）を制覇した山本泰輝（静岡・飛龍高）がこの階級にエントリーした。上位進出なるか。

## 【男子フリースタイル 125kg 級】

鈴木啓仁（ワセダクラブ）  
村上佳児（徳山大）  
竹内将美（大東大）  
岡 倫之（ブシロード）  
藤田悠矢（中京学院大）  
池田雄人（近大）  
下中隆広（横浜刑務所）  
松本徹也（日本文理大）  
田中哲矢（自衛隊）  
金澤勝利（自衛隊）  
角原克己（関大）  
貝塚賢史（山梨学院大）  
宮原将裕（大東大）  
荒木田進謙（警視庁）

9月のアジア大会（韓国・仁川）で3位に入賞し、国際舞台で通じる力を見せた**荒木田進謙（警視庁）**と、世界選手権代表の**岡倫之（ブシロード）**の争いが続く。荒木田は2年連続5度目の優勝を、岡は2年ぶり2度目の優勝を、それぞれ目指す。

全日本選抜選手権3位で全日本社会人選手権優勝の**金沢勝利（自衛隊）**が両者の闘いに割って入れるか。2009年の120kg級チャンピオンで、翌年の世界選手権にも出場した**下中隆広（横浜刑務所）**が戦線に復帰し、再起を目指す。往年の実力をキープしているか。

## 【女子 48kg 級】

嶋居奈央（環太平洋大）  
岡本佳子（佐賀・鳥栖工業高）  
谷山菜緒（大阪・香ヶ丘リベルテ高）  
宮原 優（東洋大）  
磯本早紀子（福岡・美萩野女子高）  
木村早耶架（日体大）  
五十嵐未帆（愛知・至学館高）  
内城陽夏（至学館大）  
山田海南江（自衛隊）  
奥野里菜（至学館大）  
登坂絵莉（至学館大）  
岩群安奈（アイシン・エイ・ダブリュ）  
加賀田葵夏（東京・文化学園大学杉並高）  
櫻井宏美（ランクアップ平野屋）  
矢後佑華（日大）  
入江ゆき（九州共立大）  
藤沢志穂（九州共立大）  
澤田千優（埼玉・埼玉栄高）  
青野ひかる（日大）  
伊藤光里（高知・高知東高）  
渡辺由香（法大）  
大関 蘭（法大）  
田中亜弥瑠（茨城・霞ヶ浦高）  
中村未優（埼玉・埼玉栄高）  
鈴木花奈（埼玉・埼玉栄高）

植野さくら（自衛隊伊丹）  
内城朝葉（愛知・至学館高）  
大高梨紗（愛知・至学館高）  
志土地希果（至学館大）

世界選手権（ウズベキスタン）で2連覇を達成し、続きアジア大会（韓国）でも優勝した**登坂絵莉（至学館大）**を、全日本選抜選手権2位の**宮原優（東洋大）**、宮原を全日本学生選手権で破って優勝した**入江ゆき（九州共立大）**が乗り越えられるか。

昨年まで**51kg**級の選手だった宮原は、今年、世界ジュニア選手権で優勝するなど**48kg**級への階級ダウンをしっかりとこなしている。入江は今年、ロシア最高レベルの国際大会のヤリギン国際大会で優勝。ワールドカップ出場の機会をもらい、ゴールデンGP決勝大会（アゼルバイジャン）で3位など、世界で通用する実力をつけている。

昨年3位で今年のアジア選手権（カザフスタン）3位の**岩群安奈（アイシン・エイ・ダブリュ）**、**51kg**級で世界選手権出場の経験を持つ**志土地希望果（至学館大）**が優勝戦線に食い込めるか。

2020年東京オリンピックを目指す世代としては、世界ジュニア選手権**44kg**級優勝の**内城陽夏（至学館大）**、2012～14年の3年連続で世界カデット選手権（今年は**49kg**級）を制覇した**加賀田葵夏（東京・文化学園大学杉並高）**、世界カデット選手権**46kg**級優勝の**五十嵐未帆（愛知・至学館高）**らの闘いぶりに注目。

## 【女子 53kg 級】

渡邊ひかり（環太平洋大）

鈴木綾乃（ジャパンビバレッジ）

浜田千穂（日体大）

長沼美香（岐阜・岐阜工高職）

吉田沙保里（ALSOK）

坂上楓舞希（至学館大）

竹下 董（愛知・至学館高）

池亀優希（自衛隊）

金子 和（早大）

向田真優（JOCエリートアカデミー／  
東京・安部学院高）

田中亜里沙（早大）

下地優香（九州共立大）

入江ななみ（九州共立大）

今 佑海（東京・安部学院高）

佐々木なつみ（青山学院大）

齋藤ほのか（法大）

伊藤小雪（環太平洋大）

片桐左智（環太平洋大）

55kg 級でオリンピック 3 連覇、この階級に落としても世界選手権（ウズベキスタン）で優勝した吉田沙保里（ALSOK）に、55kg 級で世界選手権を制した浜田千穂（日体大）が階級を落として挑む。世界チャンピオン同士の決勝戦となるか。

浜田はこれまで吉田と 5 度闘っており、最初の 3 試合は完敗。2011 年の全日本選抜選手権（55kg 級）では 36 秒でフォール負けしている。その後、昨年全日本選抜選手権（同）は 2-8、昨年の決勝（同）では 1-4 とフルタイム闘っており、実力差を縮めているのは明白。浜田が世界一となった今度の対戦はどうか。

吉田が 2002 年に世界一になったあと、国内で現役世界チャンピオンと闘ったことは、2003 年と 2004 年に山本聖子、2007 年に坂本日登美の 3 度あり、いずれも勝利をおさめている。勝負強さが今回も発揮されるか。

全日本選抜選手権 2 位の入江ななみ（九州共立大）、同 3 位でのユース・オリンピック 52kg 級を制した向田真優（JOCエリートアカデミー／東京・安部学院高）、世界学生選手権（ハンガリー）3 位で 11 月のブラジルカップ優勝の田中亜里沙（早大）らが優勝争いに食い込めるか。

### 【女子 55kg 級】

河内美樹（大阪・香ヶ丘リベルテ高）  
石田千晃（大阪・香ヶ丘リベルテ高）  
木村安里（群馬大）  
奥野春菜（三重・久居高）  
澤葉菜子（愛知・至学館高）  
伊郷里咲（自衛隊）  
角谷萌々果（至学館大）  
菅原ひかり（至学館大）  
永石美智（九州共立大）  
早見なつみ（九州共立大）  
熊野ゆづる（東京・安部学院高）  
廣瀬瑠実（青山学院大）  
岩崎理栄（埼玉・埼玉栄高）  
松見千都彩（環太平洋大）  
望月英早乃（環太平洋大）

### 【女子 58kg 級】

屋比久すず（沖縄・浦添工業高）  
伊調 馨（ALSOK）  
酒井美沙紀（福岡・小倉商高）  
西村晴香（関大）  
増田奈千（環太平洋大）  
樋口美賀子（環太平洋大）  
川井梨紗子（至学館大）

全日本選抜選手権の優勝選手（浜田千穂）は階級を下げため、同 2 位の**菅原ひかり（至学館大）**、同 3 位の**木村安里（群馬大）**の争いか。菅原は 2 年ぶり 2 度目の優勝、木村は初優勝を目指す。

菅原は 4 月にアジア選手権（カザフスタン）3 位になっているほか、全日本学生選手権でも優勝と好調の 1 年。木村は全日本学生選手権準決勝での菅原との対戦は 1 - 1 のラストポイント差。実力は接近している。11 月にはブラジルカップで勝ち、国際大会初優勝と勢いをつけている。

2 月のクリッパン女子国際大会（スウェーデン）3 位の**広瀬瑠実（青山学院大）**、世界学生選手権（ハンガリー）60kg 級 5 位の**早見なつみ（九州共立大）**らがどこまで健闘できるか。

2020 年東京オリンピックを目指す世代では、インターハイ 52kg 級優勝の**奥野春菜（三重・久居高）**、同 56kg 級の**熊野ゆづる（東京・安部学院高）**がどこまで上位へ食い込めるか。

63kg 級でオリンピック 3 連覇を達成し、この階級でも世界チャンピオンに輝いた**伊調馨（ALSOK）**の優位は動くまい。全日本選抜選手権決勝で敗れた**川井梨紗子（至学館大）**が、どう闘うか。昨年は 59kg 級で対戦し、伊調が 7 - 0 のテクニカルフォール勝ち。今年の全日本選抜選手権は 4 - 0 で、わずかながら差は縮まった。

川井は今年、アジア選手権（カザフスタン）、世界ジュニア選手権（クロアチア）59kg 級、全日本学生選手権と優勝を重ねており、その勢いをぶつきたい。

全日本学生選手権 2 位の**増田奈千（環太平洋大）**、世界学生選手権（ハンガリー）58kg 級 3 位の**樋口美賀子（環太平洋大）**がどこまで粘れるか。

## 【女子 60kg 級】

川井友香子（愛知・至学館高）

今井栞海（京都・海洋高）

米田野乃佳（至学館大）

栄 希和（至学館大）

伊藤彩香（至学館大）

香山芳美（早大）

坂野結衣（日大）

三浦由起子（法大）

増山汐音（群馬・西邑楽高）

加藤優希（環太平洋大）

榎本美鈴（青森・八戸工大一高）

世界選手権代表（坂上嘉津季）は不出場で、全日本選抜選手権2位の選手（村田夏南子）は階級アップ。同3位の**伊藤彩香（至学館大）**と同4位の**坂野結衣（日大）**の争いか。

ともに負傷で戦列を離れ、今年初めに復帰した選手。同選手権では伊藤が勝ったが、全日本学生選手権では坂野が勝った。今度も闘うことになれば“決着戦”となる。どちらの手が上がるか。

全日本学生選手権63kg級優勝で世界ジュニア選手権同級3位の**栄希和（至学館大）**、全日本社会人選手権と全日本女子オープン選手権で優勝し11月のビル・ファーレル国際大会（米国）優勝の**香山芳美（早大）**らが優勝争いに加われるか。

## 【女子 63kg 級】

高橋海寿々（東京・大森学園高）

入江くみ（福岡・小倉商高）

鈴木紅夏（東洋大）

歌田圭純（埼玉西部消防局）

伊藤友莉香（自衛隊）

津田香耶（自衛隊）

佐藤喜歌（自衛隊）

渡利璃穂（アイシン・エイ・ダブリュ）

平野翔子（東海大学職）

源平彩南（東京・安部学院高）

木村夕貴（東京・安部学院高）

田中志歩（ファイブ☆スター）

村田夏南子（日大）

上原榛奈（法大）

小林沙也加（環太平洋大）

今年の世界選手権（ウズベキスタン）代表でアジア大会（韓国）優勝、2年連続優勝を目指す**渡利璃穂（アイシン・エイ・ダブリュ）**に、全日本選抜選手権2位の**伊藤友莉香（自衛隊）**、同60kg級2位の**村田夏南子（日大）**が挑む。

伊藤はアジア選手権（カザフスタン）で優勝し、ゴールデンGP決勝大会（アゼルバイジャン）2位と、渡利に匹敵する実績を持つ。昨年まで55kg級で闘っていた村田は、全日本選抜選手権の60kg級を経て、全日本女子オープン選手権は63kg級優勝。この階級の“試運転”に成功している。

アジア選手権60kg級3位で11月のブラジルカップ優勝の**佐藤喜歌（自衛隊）**、全日本選抜選手権3位で世界学生選手権（ハンガリー）5位の**上原榛奈（法大）**、全日本選抜選手権4位の**鈴木紅夏（東洋大）**らが上位へ食い込めるか。

## 【女子 69kg 級】

井上佳子（クリナップ）  
工藤佳代子（自衛隊）  
土橋奏珠（愛知・至学館高）  
土性沙羅（至学館大）  
吉井瑞江（至学館大）  
古市雅子  
（JOCエリートアカデミー／東京・安部学院高）  
橋本千紘（日大）  
藤岡杏実（高知・高知東高）

世界選手権（ウズベキスタン）2位で4連覇を目指す**土性沙羅（至学館大）**が実績では抜群だが、世界選手権で負ったけがの回復はどうか。全日本選抜選手権2位の**工藤佳代子（自衛隊）**、元世界3位で負傷による離脱から復帰した**井上佳子（クリナップ）**らが、そのすきについて栄冠を勝ち取れるか。

台風の目になりそうなのが、昨年まで世界カデット選手権を3連覇し、今年の世界ジュニア選手権（クロアチア）67kg級を制した**古市雅子（JOCエリートアカデミー／東京・安部学院高）**。3月のクリッパン女子国際大会（スウェーデン）でシニア初の国際大会のメダルを取り、10月の全日本女子オープン選手権を制した。一気に優勝を勝ち取る可能性もある。

## 【女子 75kg 級】

進藤芽伊（大阪・香ヶ丘リベルテ高）  
江藤聖佳（三井ラビットクラブ）  
鈴木博恵（クリナップ）  
浜口京子（ジャパンビバレッジ）  
朝野未紗（富山・滑川高）  
阿部梨乃（日大）  
馬場菜津美（自衛隊）  
飯島千晶（警視庁）  
齋藤未来（東京・安部学院高）

世界選手権（ウズベキスタン）7位の**鈴木博恵（クリナップ）**と、アジア大会（韓国）5位の**浜口京子（ジャパンビバレッジ）**が覇権を争うか。昨年の両者の対戦は浜口の辛勝。今年の全日本選抜選手権は浜口が負傷で不出場だったので、対戦が実現すれば1年ぶり。

浜口は今年が20回目の全日本選手権出場で、優勝すれば17度目の優勝となり、自身の持つ最多優勝記録の更新となる。

昨年の世界ジュニア選手権72kg級優勝で今年全日本選抜選手権2位の**阿部梨乃（日大）**、同3位の**飯島千晶（警視庁）**が殊勲を挙げるか。